

# ユング「タイプ論」セミナー

## ユングから学ぶ自己開発と対人対応力 (JPTS)

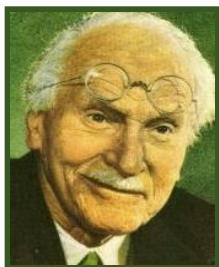
### Jung's Psychological Types Seminar

#### このコースの概要

このコースは、ユング心理学に基づいて、自らを**意識**と**無意識**の両面から深く理解し、自己開発の方向性を理解すると共に、他者対応スキルも身に付けていく1日コースのプログラムです。ユングの特性理論を正しく反映した内容を通じて、自己開発と対人対応力の向上、総合力の向上、組織の生産性の向上に結び付けていきます。

このコースは、単に参加者の特徴を伝え、他者のスタイルに対する対応パターンを紹介する類型論トレーニングではありません。オリジナルのユング心理学を通じて、私たちの持つ心理的機能のメカニズムを理解し、その特徴を深く理解していきます。また、私たちが**無意識**の世界に送り込んでいる発達の遅れた機能に着目して、それらが問題を引き起こすメカニズムの理解と共に、発達の遅れた要素を健全に向上させるための方向性を示していきます。また、様々なタイプの同僚や上司、顧客、その他重要な関係者との関わり方について、一つの軸となる方法論と利用できるツールを提供していきます。

このコースでは、**自己開発**について真剣に考える機会が提供されます。また、様々なタイプの人々を理解し、対応力の向上を通じて、個人としての影響力の向上、チームにおける活動の質的向上、セールス力、交渉力の向上につなげることができます。



#### カール・グスタフ・ユング Carl Gustav Jung (1875年-1961年)

分析心理学の創始者。無意識、深層心理等の世界に光を当てたスイス生まれの心理学者。1921年に大冊「タイプ論」を出版した。彼の研究は多くの研究者に多大なる影響を与え、その後多くの類似の特性理論を生んだ。彼の提示した特性理論は単なる分類論でなく、自己開発をにらんだ、向上と成長のための理論であり、後発の理論と一線を画している。自分のタイプの理解だけでなく、その先にある**全体性の実現**を目指した理論です。

#### このコースの目的

一人の職務遂行者として、あるいは、一人のプロフェッショナルとして、自己の強みと弱みを理解し、ユングの示した「**個性化**」（すべての心理的機能や態度を活性化させ、統合していくビジョン）に向かって自己開発を促進させることを主要目的にしています。同時に、他者の理解を促進し、様々なタイプの人たちへの効果的な対応力を身に付け、他者に対する影響力の向上を実現させていくことを目的としています。

#### このコースの対象者

- ▶ 自己の強みと弱みを明確に理解し、能力開発のきっかけをつかみたいと思っている方
- ▶ 能力についての認識を高め、今後の向上に役立てたいと思っている方
- ▶ さまざまなタイプの人に対して、効果的な対応力を発揮することが期待されている方
- ▶ ハラスメントをはじめとする特定の脱線言動に対する対応策として活用したい方

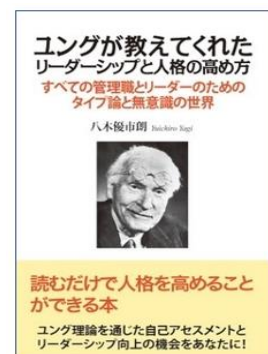
どのような階層の人でも、どのような背景を持つ人でも参加することができます。

#### このコースの特色

- ▶ ユングのタイプ論に、できる限り忠実に作られた、「タイプ論」セミナー
- ▶ 意識と無意識の両面からの自己認識を高めることができる
- ▶ 対人対応力を効果的に向上させる
- ▶ 社内ミーティングやセールスに活用できる“面談準備シート”の提供

#### 提供できる価値

- ▶ 参加者の個人的成長、全体性の獲得を促す
- ▶ 自己の強みと弱みを明確に意識できるようになる
- ▶ 職務能力と関連付けつつ、特性論を理解できる
- ▶ 対人関係力、交渉力、販売力の向上
- ▶ 誰もが持つ、改善が期待される言動に対し、改善を生むきっかけを作れる



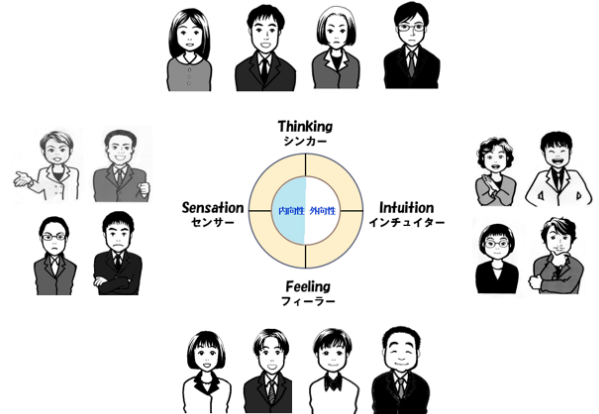
本コースの講師によって執筆された書籍です。

## このコースの内容

ユングは、人間には対立関係にある2つの心理的態があること、そして同じように対立関係にある2組の心理的機能があることを示しました。心理的態については、良く知られている外向性と内向性の対立軸を示しました。そして、心理的機能として、情報入手については、目や耳などの感覚器官を通じて情報入手するセンセーション（感覚機能）と直観的に入手するインチュイション（直観機能）という2つの機能が、情報処理については、ロジックを主に使うシンキング（思考機能）と様々な価値観を主に使うフィーリング（感情機能）があることを示しました。

このコースでは、自らが主に活用している心理機能と自らがあまり活用せず、無意識の世界に追いやっている未成熟な心理的機能を理解する中で、自分自身をより深く理解することができるようになります。そして、知らず知らずのうちに表出してしまう、ネガティブな言動についても、理解を深めることができます。このネガティブな言動の大部分は、無意識の世界に送り込まれた、発達の遅れた心理的機能が引き起こしていることを学習することができます。このコースの中で一人の社会人、あるいはプロフェッショナルとして、向上の機会や対人対応力の向上の機会を得ることができます。堅い内容にもかかわらず、楽しみながら受講できるコースです。 **1日コース**。

- ▶ **無意識の世界**
  - 抑圧された要素、ペルソナとマネジメント
- ▶ **2つの心理的態（外向性と内向性）**
  - 外向性と内個性の補償作用
  - ハラスメントのメカニズム
- ▶ **4つの心理機能**
  - 各機能の特徴
  - 4つの機能の補償作用の理解
- ▶ **個性化（自己開発）**
  - 発達の遅れた機能がもたらすこと
  - 暴走をもたらす要素と脱線行動
  - ストレス対応
  - 不合理な信念への対応
  - 自己開発に向けてのプラン
  - 個性化シートの作成
- ▶ **各タイプへの対応**
  - 各タイプの外的特徴
  - 各タイプのニーズ
  - 内向性／外向性への対応
  - 各タイプへの対応
  - 面接準備シートの活用



ユングは、各自が持つ心理的機能の使い方によって、シンカー、フィーラー、センサー、インチュイターという4つのタイプを示しました。4つの機能の理解を通し、自己認知や自己開発のための指針、実用的な対人対応力を勝ち得ることができます。

より詳しい内容及び講師情報は、[コア・コンセプト・ラボラトリー](#)のホームページをご覧ください。

## 受講者からの声

- 驚くほどの内容を持っていた。自己開発について、これほど刺激を受けたことがない。
- 特性理論のコースは他にも受けているが、深みが違う。また判りやすいと思う。
- 自分について話し合う機会は、トレーニングを受けないと得られない貴重な経験だと思う。
- 自分を定義付けるなという講師の言葉は、個性化部分が終われば良くわかる。
- 既に受講していた類型論のコースとは次元が違います。
- 自分自身をタイプで定義づけず、個性化を目指します。
- 面接準備シートはいろいろ使えるシートだと思います。
- もっと早く受講したかった。
- 自己開発のための目標設定ができたことは素晴らしいことだと思う。
- 今まで受けたコースの中で最も印象深く、ためになるコースでした。
- 無意識を理解することの重要性が良く理解できた。個性化を忘れないようにしたい。

## コア・コンセプト・ラボラトリー・ジャパン LLC

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-3, 8F

[info@ccljapan.com](mailto:info@ccljapan.com)

<http://www.ccljapan.com>

パートナー会社以外のトレーニング会社、コンサルティング会社、および、その関連会社からのご出席はお断りしております。